

地域住民・学校教育との連携交流による農空間保全

おのさと 男里地区農空間保全協議会（泉南市）

- 男里地区では、土地改良区を中心に農地や水路、農道等の保全管理を進めてきたが、近年、後継者の減少により、担い手の負担が増大し、継続的な活動に支障が生じていた。
- H28年度に土地改良区、近隣小学校により男里地区農空間保全協議会が設立され地域住民と連携した地域資源の保全管理を行っている。

【地区概要】

取組面積	11.04ha [田11.04ha 畑0.00ha]
農業用施設	開水路4.5km パイプライン0km 農道 0.7km ため池 2箇所
主な構成員	土地改良区、泉南市立雄信小学校
交付金	331千円

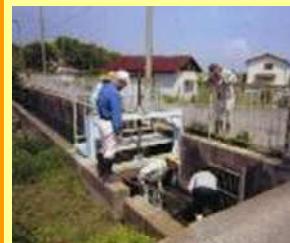
活動開始前の状況や課題

- 双子池を水源とし水稻を中心にキヤベツ、里芋などの作付を組み合わせた農業がおこなわれている地域であるが、一部で遊休農地が発生したり、後継者の不足、担い手の減少等、今後の持続的な農地・農業用施設の維持管理が課題である。
- 地区内の一部農業用施設で不具合・老朽化が生じ、施設の軽微な補修・長寿命化が課題である。



取組内容

- 草刈りや水路の泥上げに加え、農道舗装の補修や水路附帯施設の補修等を交付金を活用して実施し、施設の長寿命化を図っている。
- 協議会構成員でもある稻作等体験支援隊により地元小学校（雄信小学校）の年間を通じた農業体験等の交流活動にも積極的に取り組んでいる。



取組の効果

- 土地改良区が中心となって、きめ細やかな施設の軽微な補修に取り込むことにより、計画的に農業用施設の保全管理を実施。
- 雄信小学校の生徒による農業体験を地域農家の指導により年間通じて実施し、子どもの地域農業への理解促進、交流が図られている。

